

せおと

岡崎市立常磐小学校
令和三年三月十日



東日本大震災から10年

この時期になると、3・11の日に関わる本を読みます。先日、子供の本の作家たちによる絵と文章を集めた本「あの日からの或る日の絵とことば」をりぶらで借りました。

その中で、長谷川義史さんの『野球少年』と

いう文章が心に残りました。長谷川さんが、震災後被災地へ行くこと、でこぼこになってしまった小学校の運動場で、子供たちが元気に野球をやっていたそうです。その中の一人の子の話でした。その子は、押し寄せる津波からお父さんと屋根の上に避難しましたが、屋根ごと流され、別の家へぶつかって助かりました。すごい体験なのに、そのことを明るく話す様子に長谷川さんは驚きました。その子はピッチャーでしたが、その後いったん野球をやめます。キャッチャーの子が震災で亡くなったからです。でも亡くなってしまう子の分まで野球を続けてほしいと励まされ、再び野球と向き合い、なんと高校野球の聖地甲子園出場を果たしたということ。長谷川さんが最初に会ったその子は小学校二年生、それから高校生になるまで、どんな思いで野球を続けていたのでしょうか。そして、その成長ぶりを見た長谷川さんの思いはどんなだったでしょう。



災害は無ければ無い方がいいに決まっていますが、大きな災害から立ち直り頑張る姿に、私たちは勇気をもらいます。だからこそ災害の無い「今」に感謝しつつ、もしもの時の準備を怠らず、さらなる高みを目指して歩んでいくことが大切だと思います。そうやって頑張る常磐っ子を応援しています。

六年生の皆さんは、あと一週間で小学校を卒業します。出会いからの二年だけでも、皆さんの成長に感慨を覚えるのですから、それ以前に出会った方たちにとっては、もっと大きな感動となることでしょう。六年間背負ったランドセルも、使い終わるときが来ています。様々な人や物に思いを込めて、小学校生活の最後の1週間を過ごしてほしいと思います。

ありがとうの花を咲かせよう

代表委員会では、一年間を振り返り、クラスや通学班、友達や先生に、ありがとうの気持ちを伝えようと考え「ありがとうの木」を作り始めました。始まってまだ三日目ですが、ありがとうの花が日に日に増えていきます。



すてきな言葉の花が咲いているよ。ハッピーが少し紹介するね。

友達へ「相談に乗ってくれてありがとう」

先生へ「しかってくれて、ありがとう」

二の二へ「一年間楽しく過ごすことができてうれしかったよ」

班長へ「いつも班の子をまとめてくれてありがとう」

サッカーボールへ「いつもあそぼせてくれてありがとう」

先週は本読みトトロさんに感謝を伝えました。明日は交通ボランティアの皆さんに心を込めて感謝の気持ちを伝えます。

